

1. 設計方針

今後の超高齢社会を見据えて、「ふるさと美唄」において、安心して住み続けられる医療の提供とは何か、さらには住み慣れた地域で人生の最期まで過ごすことができる地域社会の実現は喫緊の課題であり、その実現には、地域包括的な医療・介護・予防・住まい・生活支援の切れ目のないサービスを提供できる新たな社会システムづくりが不可欠であります。

このような状況の中、市立美唄病院は昭和18年の創立以来、75年以上にわたり地域の人々の命と暮らしを守る拠点として、良質な医療を提供し続けています。市立美唄病院の建替えにあたり、市立美唄病院建替え基本構想・基本計画に掲げる基本理念・基本方針に基づき、超高齢社会で求められる多様な市民サービスを提供できる「新しい市立美唄病院」を計画します。

2. 施設整備方針

(1) 利用者の視点に立った病院

- ・利用者とスタッフの動線は適切に分離し、わかりやすく使いやすい動線計画とします。
- ・利用者の療養環境の向上に配慮し、ゆったりとしたスペースの確保や自然光を積極的に取り入れるなど、明るく快適な環境を創出します。
- ・利用者のプライバシー確保と看守られている安心感を両立します。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、病院を利用するすべての人にやさしく、安全で利用しやすい病院とします。

(2) 将来に備えて汎用性のある病院

- ・将来の人口予測に基づく医療需要の変動に対し、5年ごとに病床規模・機能の見直しに対応した乾式間仕切り壁や二重床の採用などにより、自由なレイアウトが可能なフレキシビリティのある建築計画とします。また、将来的な設備更新や改修にも順応できる施設とします。
- ・地域の医療・介護関係者との連携を強化するため、多職種でのグループワーク等の研修が行える施設とします。
- ・イニシャルコスト、ランニングコストのバランスを考慮し、ライフサイクルコストを重視した費用対効果の高い施設を整備します。

(3) 災害に強い病院

- ・自然災害時においても継続して対応できる安全性・耐震性を確保した建物を整備し、患者および職員の安全を確保し、行政や消防、地域医療機関と連携し適切な医療を提供します。
- ・災害時の医療業務継続の重要性の観点から、主要エネルギー設備室や病室、手術室、サーバー室などは、2階以上の階に配置します。

(4) 職員が働きやすい病院

- ・職員の作業動線の短縮化を図るなど作業効率の向上が図られる働きやすい施設とします。

(5) 感染症対策

- ・感染症の流行等における院内感染防止のための感染対策を充実させ、患者・職員に対し安全安心な病院とします。

(6) 環境に配慮した病院

- ・地球環境（二酸化炭素排出の抑制）や省エネルギーに配慮した施設とします。
- ・木材を積極的に利用し、断熱性、調湿性、木のぬくもりや癒し効果などにより、健康的で快適な空間を提供し、地球温暖化や室内環境にやさしい施設とします。

3. 計画概要

(1) 敷地概要

地名地番	：北海道美唄市西2条北1丁目1259番地2
都市計画区域	：区域区分非設定
用途地域	：第2種中高層住居専用地域
防火地域	：指定なし
法22条地域	：法22条区域
日影規制	：5m 3時間 / 10m 2時間
基準建蔽率	：60%
基準容積率	：200%
敷地面積	：16,820.39㎡

(2) 計画概要

病院棟	事務棟
階数：地上3階、PH（塔屋）1階	階数：地上1階
構造：鉄筋コンクリート造	構造：軽量鉄骨造
（耐震構造、Ⅰ類、重要度係数1.5）	
（耐震構造、Ⅱ類、重要度係数1.25）	

延べ面積

PH階	194㎡
3階	1,819㎡
2階	1,819㎡
1階	2,583㎡（病院棟2,140㎡＋事務棟443㎡）
合計	6,415㎡

4. 配置計画

(1) 土地利用計画

- ・南西側の職員駐車場に新病院を建設します。
- ・新病院の東側に一般駐車場、北側に職員駐車場を配置します。
- ・一般駐車場には昭和通中央から出入りし、また、救急車、サービス車両の出入口も昭和通西側からの出入りとし、昭和北線、昭和西1号線にも出入口を設置しますが、積極的に利用しません。
- ・新病院の正面には緑地スペースを確保します。
- ・敷地にはゆとりをつくり、降雪時の雪置場を確保します。

(2) 動線計画

- ・新病院の正面玄関は東側に設け、近接して車いす用駐車場を配置します。また、正面の車寄せには正面玄関の大きな庇により、来院者の降雨・降雪時の利用にも配慮します。
- ・救急車動線、サービス車両動線は来院者の動線と分離して配置し、動線が交錯しない計画とします。

(3) 防災計画

- ・駐車場は地震時の一時的な避難場所として利用します。災害時は正面玄関の大庇下でトリアージできる計画とします。

(3) 計画条件

主要部門：外来部門、病棟部門、救急部門、在宅医療部門、手術・中央材料部門、人工透析部門、薬剤部門、放射線部門、検査部門、内視鏡部門、リハビリテーション部門、臨床工学部門、栄養給食部門、医療安全管理部門、事務局部門
病床数：一般病棟43床（うち地域包括ケア病床15床）、療養病棟32床、合計75床、人工透析30床
診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科



※イメージ図は基本設計時のものです。 今後、変更となる場合があります。

